

志布志市はお茶どころ

志布志市は県内2番目のお茶の産地です。

みなさん、知っていましたか？

給食センターでは、みなさんに「お茶の美味しさ」を知ってもらうためにお茶を使ったメニューを献立に入れて「茶育」を行っています。

茶育 = 子どもの頃から茶に親しむ習慣を育むために
学校教育の場で茶を活用した食育



今年度4回目となる「お茶」を使った給食を実施しました！

《給食実施日》

【Aブロック（有明）】 12月19日（木）

【Bブロック（志布志・松山）】 12月17日（火）



今日は、魚の「しら」にお茶の葉とパン粉を混ぜたものを
ふりかけて焼きました。

お茶パン粉焼きに使用したお茶は、「**志布志市茶業振興会**」から
いただきました！



志布志市茶業振興会の方にお話を聞きました



志布志市茶業振興会
会長 坂元 修一郎さん

Q. 志布志茶の特徴は？

＊有機栽培が多い ＊茶種（品種）が多い

A. 有機栽培（農薬や化学肥料を使わない農業）に取り組んでいる生産者が多いです。

てん茶（抹茶の原料）の生産量は日本一です！

Q. 大変なことや気を付けていることは？

A. 志布志市には、「ゆたかみどり」「やぶきた」「さえみどり」

といったお茶の品種が多く栽培されていますが、どのお茶も同じような時期に収穫を迎えます。収穫の時期になると、より新鮮なお茶を作るために、寝る間も惜しんでお茶を加工する日が続きます。

とても大変な作業ですが、私たちが作ったお茶をおいしく飲んでいる姿を想像しながら安全・安心を第一に、心を込めて作っています。

Q. お茶を出荷するまでの流れを教えてください！

A. 3月ごろに新芽が出始めて、4月上旬～中旬で茶摘みに入ります。

その後、工場で加工し、5月にはみなさんのもとへ新茶として届きます。

お茶の種類

【ゆたかみどり】約3割

鹿児島県内で最も栽培されている品種。早生品種で病気に強く栽培しやすい。

【やぶきた】約2割

全国で一番栽培されている品種。

大きな特徴はないが、お茶品質の基準になっている。

【さえみどり】約2割

鹿児島県で2番目に栽培されている品種。

色（お茶の葉や抽出液）がきれいで味も優れる優秀な品種。

【せいめい】

てん茶を製造するのに適した品種。現在志布志市で1番面積が伸びている。



志布志の子どもたちへのメッセージ

お茶に含まれるカテキンには風邪になりにくくする効果もあるので、
おうちでも急須で入れたお茶をぜひ飲んでほっこりしながら、
寒い冬を乗り切ってほしいです！

